

平成 26 年 12 月 19 日 (金) 午前 8 時 42 分～ 8 時 50 分



今日は鹿児島市鴨池新町にある、鹿児島県警察本部交通部交通企画課で「MBC ラジオポニー号」が「モーニングスマイル」の中継を行いました。

ポニーメイツの柗さんが、交通部交通企画課理事官の川井田 克さんにお話を伺いました。

～鹿児島県警察本部交通部交通企画課の取組状況～

鹿児島県警察本部交通部交通企画課は一口で言うと交通事故のない安全・安心な社会をつくることを目的としています。

具体的には、保育園、幼稚園、小学校、そして高齢者を対象とした交通安全教育や交通事故の発生状況の分析、資料提供等交通安全に繋がる広報、啓発活動を行っているところです。

鹿児島県内の現在の交通事故の発生状況は

発生件数が 8, 086 件

怪我をされた方が 9, 457 人

死者数は 90 人 となっています。

件数と怪我をされた方は、昨年と比べて大幅に減少しています。しかし、残念ながら死者数についてはプラス2人という状況です。

本件の交通事故の特徴としては、やはり高齢者の方が被害にあうケースが非常に多いということです。

平成 15 年から 11 年連続で全死者の過半数以上を高齢者が占めているという状況で、今年も 56 人の高齢者の方が亡くなっていらっしゃいます。これが全死者数の約 6 割以上となっています。

また、九州の中で見てみますと、歩行中に車両にはねられるという事故が多いことがあげられます。歩行中の死者は 39 人で全死者の約 4 割を占めています。

それから、夜間に交通死亡事故が多いというのも大きな特徴の 1 つです。やはり夜間は車のドライバーから非常に見えにくいというのが原因です。夜間外

出されるときには明るい服装で、夜光反射材、タスキやリストバンド状のものがありますので、身につけるようにしましょう。そして、歩道や横断歩道など決められたところを歩いていただきますようにお願いします。

運転をされるドライバーの皆さんは、ちょっとした不注意が死亡事故や重傷事故という大きな結果を招くということを肝に銘じてハンドルを握るようにしていただきたいです。

特に、冬場は日照時間が短く、5時前になると暗くなるので、この時期、交通事故が非常に多く発生しています。薄暗くなってきたら早めにライトを点け、速度を落として走行するようにしてください。そして、前を走る車や対向車に迷惑にならない場合は、原則としてライトは上向きで走行してください。ライトは下向きの場合 40 メートル先まで照らしますが、上向きの場合 100 メートル先まで照らすことができます。

年末年始の交通事故防止運動の 3 つの重点項目にもありますが、シートベルトの着用については、シートベルトをしていないと着用時に比べて、特に後部座席の場合、致死率が 4.5 倍にまで上がります。シートベルトをしていないと天井やドアに叩きつけられたり車外に放出されてしまったりという危険があるので、必ずシートベルトは締めて頂きたいと思います。

運転するドライバーはもちろんのこと、助手席、後部座席も含めて全席シートベルトを着用し、小さなお子さんを乗せる場合はチャイルドシートをしっかりとつけてから運転を始めるように心がけていただきたいと思います。



